

労働力調査（基本集計）平成28年度（2016年度）平均

結果の概要

1. 2016年度平均の完全失業率は3.0%と、前年度に比べ0.3ポイント低下

2. 2016年度平均の完全失業者は203万人と、前年度に比べ15万人減少

(主な求職理由別)	(完全失業者数)	(対前年度増減)
仕事をやめたため求職	141万人と、	11万人の減少
非自発的な離職	56万人と、	8万人の減少
定年又は雇用契約の満了による離職	22万人と、	2万人の減少
勤め先や事業の都合による離職	33万人と、	7万人の減少
自発的な離職(自己都合)	85万人と、	3万人の減少
新たに求職	57万人と、	5万人の減少
学卒未就職	8万人と、	1万人の減少
収入を得る必要が生じたから	29万人と、	2万人の減少
その他	20万人と、	1万人の減少

3. 2016年度平均の就業者は6479万人と、前年度に比べ66万人増加

(主な産業別)	(就業者数)	(対前年度増減)
医療、福祉	809万人と、	14万人の増加
学術研究、専門・技術サービス業	223万人と、	8万人の増加
卸売業、小売業	1066万人と、	7万人の増加

4. 2016年度平均の就業率は58.3%と、前年度に比べ0.6ポイント上昇

(総数)	(就業率)	(対前年度増減)
男性	68.2%と、	0.4ポイントの上昇
女性	49.1%と、	0.9ポイントの上昇
(15～64歳)		
男性	82.6%と、	0.7ポイントの上昇
女性	66.3%と、	1.4ポイントの上昇
(65歳以上)		
男性	31.2%と、	0.9ポイントの上昇
女性	15.9%と、	0.7ポイントの上昇

5. 2016年度平均の正規の職員・従業員は3388万人と、前年度に比べ47万人増加。非正規の職員・従業員は2024万人と30万人増加

【正規の職員・従業員】

(総数)	(正規の職員・従業員数)	(対前年度増減)
男性	2301万人と、	16万人の増加
女性	1087万人と、	30万人の増加
(15～64歳)		
男性	2237万人と、	11万人の増加
女性	1050万人と、	29万人の増加
(65歳以上)		
男性	63万人と、	4万人の増加
女性	37万人と、	2万人の増加

【非正規の職員・従業員】

(総数)	(非正規の職員・従業員数)	(対前年度増減)
男性	649万人と、	11万人の増加
女性	1375万人と、	19万人の増加
(15～64歳)		
男性	484万人と、	2万人の減少
女性	1236万人と、	3万人の増加
(65歳以上)		
男性	166万人と、	14万人の増加
女性	139万人と、	17万人の増加

6. 2016年度平均の非労働力人口は4423万人と、前年度に比べ50万人減少

注) 対前年度増減は、ベンチマーク人口を2015年国勢調査基準(新基準)に切り替えたことに伴い、比率を除き、新基準のベンチマーク人口に基づいて遡及又は補正した2015年度の数値と比較している。